

20 黒潮 5025号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

高知県幡多郡黒潮町
黒潮町長 下 村 正



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

日頃から、道路整備につきまして格別のご支援・ご指導を頂いていることに深く感謝いたします。

道路は、都市・地方を問わず、国民生活や産業・経済活動を支える最も基本となる施設であり、社会資本整備の中でも最優先に整備されなければならない根幹施設であることは言うまでもありません。

ここ数年間の国政により、すべてにおいて地域間格差が広がっています。政策実現にも都市と地方が対峙する状況まで現れています。

公共交通機関が発達していない地方では、車による交通手段が日々の生活であり、道路は「命の道路」であります。地方にとって道路は、生命を守るラインであり、幹線道路から末端の市町村道まで繋がって初めて効果が発現できるものです。血が通わなくなれば地方はなくなります。

以上の考えの中で「今後の道路行政についての意見・提案の提出について」回答いたしますので、今後も道路財源の確保と着実な道路整備推進を要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

高知県黒潮町

道路特定財源等に関する基本方針が閣議決定されましたが、今までの道路財源の使われ方が余りにもずさんなことにより、報道関係や、多くの国民の反発があり、一般財源化をすることになった。

このことは地方にとって、これから地方道路「命の道」に予算配分されると期待していましたが、一般財源化になると今まで以上に地域間格差が拡大する恐れがあります。

地域間格差は、ますます地方の産業・経済基盤整備が遅れることになり、地域の衰退に拍車がかかります。

これからの道路行政は、都市の交通網が整備されている人々の声だけでなく、地方の切実な声を反映し、真に必要な道路のために財源確保をされるよう要望します。

また、道路関連公益法人や特別会計関連の支出の無駄をなくし、本当に望まれている地方道路整備を重点課題として以下の取り組みを要望します。

- ・ 地方を含めた道路整備の必要性を認識し、今まで以上の道路財源確保に努めること。
- ・ 国の幹線道路(国幹道:14,000Km)は、国の責任において、早期に整備すること。その場合、国幹道整備の地域間格差も考慮すること。
- ・ 道路中期計画には、県・市町村の総量を把握した上で計画すること。
- ・ 安全・安心・環境を考慮した道路整備を推進すること。
- ・ 人々が生活し、地方・地域が生き残ることの出来る道路整備を推進すること。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

高知県西部の幡多地域(幡多地域)は、道路等交通基盤整備が全国でも最も立ち遅れた地域です。

空港から、車で3時間(遠方は 4 時間)走ってもまだ同県を走らなければならないのは、離島を除いて全国でこの地域だけです。

自動車は走っていますが、JR の民営化により、地域の自治体が第3セクターで運営し、毎年多額の赤字補填をする状況です。

高速道路は、1番近いインターチェンジまで車で1時間30分(遠方は 2 時間 30 分)以上かかります。

国道は、幡多地域 10 万人の唯一の幹線道路、国道56号線が走っていますが、約50年も前から変わらない道で、多くのところで歩道が整備されてない状況で重大事故が多く、もっとも危険な道路です。また、南海・東南海地震、津波等での災害が起これば各所が単線道のため寸断され他地域からの救援活動・救援物資等の補給活動が出来なくなり、孤立することが予想されます。

中山間への町道は、行き止まりの道が多く、災害時の孤立が心配され、安全・安心・命の道路整備が急務です。

このように、黒潮町だけでなく幡多地区住民10万人の安全・安心・命の道として、幹線道路から県・市町村道の整備が必要です。

○ 課題

- ・ 高規格幹線道路「四国8の字ルート」の計画的整備促進
- ・ 高規格幹線道路ICへのアクセス時間の短縮(四国西南地域最大 2 時間 30 分)
- ・ 空港までの所要時間の短縮(四国西南地域最大 3 時間 30 分)
- ・ 幹線国道の安全・安心な道路への改良促進
- ・ 県道・市町村道の整備には、地域の声を反映した道路整備の促進と財政力による補助金の傾斜配分の推進

今後の道路行政についての意見・提案

高知県黒潮町

②-2 地域の目指すべき将来像

- ・ 高規格幹線道路「四国 8 の字ルート」の計画的整備促進

地域間格差を少しでも解消するため、高規格幹線道路「四国 8 の字ルート」の整備を早期に完成させること。この地域の経済は冷え込み、企業の閉鎖が見られます。しかし、新規に進出の話が起きても、高規格道路が整備されていること(延伸と時期を合わせる等)が条件に出るなど、受け皿としての整備ができていない地域では企業進出が期待できません。地域振興・地域間格差是正のためにも、「四国 8 の字ルート」ネットワークを早期に完成をさせること。

- ・ 高規格幹線道路ICへのアクセス時間の短縮(四国西南地域最大 2 時間 30 分)

現在本町からの最寄のICまでの所要時間は 1 時間 30 分(四国西南地域最大 2 時間 30 分)です。国内どこからでもアクセス時間 30 分以内の実現→高規格幹線道路「四国 8 の字ルート」の整備を早期に完成させること。

- ・ 空港までの所要時間の短縮(四国西南地域最大 3 時間 30 分)

現在本町からの空港までの所要時間は 2 時間 30 分(四国西南地域最大 3 時間 30 分)です。国内どこからでも空港までの所要時間 2 時間以内の実現→高規格幹線道路「四国 8 の字ルート」の整備を早期に完成させること。

- ・ 幹線国道の安全・安心な道路への改良促進

幡多地域 10 万人の唯一の幹線道路の内黒潮町中心部は、約 50 年も前(昭和 30 年代の改良)から変わらない道で、多くのところで歩道が整備されてない状況で重大事故が多い、もっとも危険な道路です。安全・安心・災害に強い道路整備を促進すること。

- ・ 県道・市町村道の整備には、地域の声を反映した道路整備の促進と財政力による補助金の傾斜配分の推進

地方の道路事情を反映した計画策定。中山間地域で人々が生活し、地域が生き残る(山林の保全・良質な水資源確保)ことの出来る道路整備を推進すること。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
地域活力の向上	・ 高規格幹線道路「四国 8 の字ルート」の計画的整備促進	・ 地域振興・生活基盤の格差解消	
安全・安心の道路整備	・ 幡多地域 10 万人の幹線道路(国道 56 号)の安全対策の向上	・ 企業進出の話には、高規格幹線道路の延伸が条件的になっている。	
道路財源の確保	・ 道路特定財源の目的外使用禁止 ・ 財政力の格差による道路整備財源の傾斜配分の継続・補助率増嵩	・ 交通事故の縮減 ・ 安全・安心の居住環境の整備	
		・ 地域活力増進 ・ 地域間格差の是正	